

平成30年度 島根県技術士会 新年例会フォトレポート

島根県技術士会では、年1回、本会に所属する技術士が日頃の研究の成果を発表する新年例会を開催しています。

今年度は、平成31年1月19日（土）にホテルニューウェルシティー出雲において、107名の会員が出席し、平成30年度島根県技術士会新年例会を開催しました。

当日は、7つの分科会から共同研究について発表がありました。

(1) 防災部会

- ・ 2018西日本豪雨災害に岡山で遭遇して 井上 真
- ・ 島根県西部地震を振り返る 坂田聖二



防災部会からは、西日本豪雨災害の被災状況や被災状況調査に適用したUAVレーザー計測の概要、島根県西部地震の状況や当地域の過去の地震の時系列からみえてくる周期性に関する発表がありました。

(2) 水資源・水環境分科会

- ・ 宍道湖に注ぐ松江市内の河川の水質について (1) 大掛敏博、角谷篤志



水資源・水環境分科会からは、宍道湖に流入する6河川について、平成18年～平成29年の水質の経年変化やその特徴、宍道湖の水質への影響に関する発表がありました。

(3) 庭園文化研究分科会

- ・ 地方に残る庭園文化 － 「出雲」と「津軽」 － 木佐幸佳



庭園文化研究分科会からは、津軽地方に伝わる独特な庭づくりについて、現地の状況や、出雲地方における出雲流庭園との比較に関する発表がありました。

(4) 今福線研究分科会

- ・ 平成30年度活動報告 和田 浩
- ・ 今福新線トンネル断面の謎に迫る 河野靖彦



今福線研究分科会からは、今年度の活動内容と、今福線の謎として存在するトンネル形式に関する発表がありました。

(5) 生物多様性研究分科会

- ・ なぜコウノトリは雲南市を選んだのか？（餌資源調査の報告）
田中秀典、大嶋辰也



生物多様性研究分科会からは、コウノトリの餌生物量調査結果、餌場としての雲南市のポテンシャルについての考察などの発表がありました。

(6) 島根県B級遺産研究分科会

- ・ 島根県B 級遺産 No.2 昭和30 年代に造られた揚水機・パイプラインシステム
石崎正信
- ・ 島根県B 級遺産（候補） 「木・コンクリート合成木桁橋」（中間報告）
松浦寛司



島根県B級遺産研究分科会からは、高台集落のかんがい用に整備された揚水機・貯水槽・吊り水管橋の建設当時の背景や施設概要などについて発表がありました。

(7) エネルギー多様性研究分科会

- ・ エネルギーについて考えてみよう（エネルギー安全保障？その前に）
盛田直樹



エネルギー多様性研究分科会からは、エネルギーの安全保障などに関する発表がありました。

各分科会からの発表では、参加者から様々な質疑が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

各分科会では、新年例会で寄せられた意見なども踏まえ、引き続き研究を進められます。



木佐会長による閉会挨拶

また、懇親会には会員83名が出席し、本会の会員等による邦楽の演奏の披露や、職場、職種、役職を超えた相互の情報交換を行い、有意義な時間を過ごしました。



懇親会